

さわやかだより

肝炎ウイルス検診を 受診しましょう

ウイルス性肝炎とは？

肝臓は「沈黙の臓器」と言われ、自覚症状がないまま病気が進行することが多く、日本ではウイルス性肝炎に罹患している人は300万人以上（約40人に1人）いると推計されています。ウイルス性肝炎は肝臓がんの原因にもなり、肝臓がんの約80%はウイルス性肝炎が原因です。

■B型肝炎

血液や体液を介してB型肝炎ウイルス（HBV）が体内に入り感染します。主な感染経路は出産のときに母親から感染する母子感染ですが、昭和61年以降は感染防止策がとられています。成人後は性交渉などで血液や体液を介して感染します。半数以上は症状がないまま自然に治癒します。しかし、1～2%は肝臓の細胞のほとんどが壊れる劇症肝炎を発症し死に至る場合もあります。

■C型肝炎

輸血や血液製剤など血液を介してC型肝炎ウイルス（HCV）が体内に入り感染します。平成4年以降はウイルス検査が導入され、輸血による感染はほとんどなくなりました。しかし、注射の打ち回し、ピアスや入れ墨などの不衛生な処置による感染があります。感染者の約30%は自然に治癒しますが、約70%はウイルスが体から排除されず、慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんへと進行する場合があります。

肝炎ウイルス(B型・C型肝炎ウイルス)検診のお知らせ

今日では医療技術の進歩により新たにB型肝炎やC型肝炎に感染する人は少ないですが、①肝機能異常を指摘されたことがある人、②肝炎ウイルスまたは肝臓がん罹患している家族がいる人、③昭和60年以前に生まれた人、④平成6年以前に輸血や血液製剤の投与の経験のある人はその他の人より感染の危険性が高いの

で、一度検査を受けることをおすすめします。

また、町では40歳から70歳までの5歳きざみの年齢の人で、過去に肝炎ウイルス検診を受診されていない人へ肝炎ウイルス検診無料クーポン券を送付します。対象者へは個別に10月上旬ごろにお知らせしますので、この機会に受診することをおすすめします。

■日 程 ①11月8日（日）～11月10日（火）、令和3年2月9日（火）
②11月11日（水）、令和3年2月10日（水）

■場 所 ①虻田地区②洞爺地区

■対 象 満40歳以上で過去に一度も受けたことがない住民

■料 金 500円（国民健康保険加入者・生活保護世帯・70歳以上の人
は無料）

■検査方法 血液検査

■申込み 検診実施月の1～2か月前の広報や回覧でお知らせし、受付を開始します

問合せ 健康福祉センターさわやか(☎76-4006)